



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桶谷 満

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	17,659	3.5	944	15.9	982	20.9	528	0.9
2019年3月期	17,065	2.3	815	19.8	813	22.8	523	23.6

(注) 包括利益 2020年3月期 516百万円 (0.5%) 2019年3月期 518百万円 (23.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	154.30		6.4	8.8	5.4
2019年3月期	152.42		6.7	7.6	4.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	11,553	8,463	73.3	2,472.23
2019年3月期	10,677	7,981	74.7	2,331.49

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,463百万円 2019年3月期 7,981百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,255	2,913	51	2,717
2019年3月期	646	79	145	4,426

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		10.00	10.00	34	6.6	0.4
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	34	6.5	0.4
2021年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		8.4	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,108	8.3	165	66.4	172	66.1	105	67.7	30.79
通期	17,226	2.5	620	34.3	635	35.4	407	22.9	119.03

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	4,216,000 株	2019年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	792,722 株	2019年3月期	792,698 株
期中平均株式数	2020年3月期	3,423,300 株	2019年3月期	3,433,202 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	16,507	3.2	912	20.3	944	24.6	503	3.4
2019年3月期	15,995	2.4	758	21.3	757	24.1	486	25.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	147.04	
2019年3月期	141.84	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	10,708	8,209	76.7	2,398.25
2019年3月期	9,940	7,751	78.0	2,264.33

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,209百万円 2019年3月期 7,751百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	7,660	7.7	157	68.0	97	69.2	円 銭
通期	15,932	3.5	589	37.6	378	24.7	28.52
							110.69

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、上期においては企業収益や雇用環境の改善によって緩やかな景気回復基調でありましたが、下期に入り消費税率引上げによる消費環境の悪化と新たに発生した「新型コロナウイルス感染症」の流行により、経済への影響が深刻化しております。

また世界経済におきましても、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などに加えて、感染症の流行拡大の影響により、景気の停滞感が急速に強まっており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましても、感染症の流行拡大の影響により、企業収益、個人消費、雇用情勢は減少傾向にあります。

医療業界におきましては、医療費抑制政策は継続されており、また、厚生労働省発表の「患者のための薬局ビジョン」への対応が求められるなど、より一層の経営努力が求められる事業環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得等による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高17,659百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益944百万円（同15.9%増）、経常利益982百万円（同20.9%増）及び親会社株主に帰属する当期純利益528百万円（同0.9%増）と売上高、利益共に前年同期を上回りました。

なお、調剤薬局事業において、減損損失120百万円を特別損失に計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、既存・新規顧客との取引が堅調に推移しておりましたが、感染症の流行拡大の影響により、売上高5,821百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益368百万円（同9.4%増）と前年同期を若干上回るに留まりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、継続的なかかりつけ薬剤師・薬局への体制強化に向けた取組みに加え、前期に開局した店舗及び既存の店舗が堅調に推移したことから、売上高10,882百万円（同5.0%増）、セグメント利益941百万円（同21.8%増）と前年同期を上回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、大型備品の販売、福祉用具の販売・貸与が共に前年同期を上回りましたが、更なる売上の拡大に向けて人材への投資を行ったことから、売上高863百万円（同8.2%増）と前年同期を上回りましたが、セグメント損失5百万円（前年同期はセグメント利益4百万円）となりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高90百万円（前年同期比7.0%減）、セグメント利益58百万円（同21.7%減）になりました。

(2) 当期の財政状態の概況

区分	当期	前期	増減
総資産（百万円）	11,553	10,677	875
純資産（百万円）	8,463	7,981	481
自己資本比率（%）	73.3	74.7	△1.4
1株当たり純資産（円）	2,472.23	2,331.49	140.74

当連結会計年度末における資産総額は、前年同期末に比し875百万円増加し11,553百万円（前年同期末比8.2%増）となりました。

流動資産は前年同期末に比し1,830百万円減少し5,931百万円（同23.6%減）となりました。

主な要因は、現金及び預金が1,750百万円、商品が73百万円及び受取手形及び売掛金が44百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は前年同期末に比し2,706百万円増加し5,621百万円（同92.8%増）となりました。

主な要因は、建物及び構築物が65百万円、投資有価証券が30百万円、長期前払費用が22百万円それぞれ減少しましたが、土地が2,609百万円、工具、器具及び備品が93百万円、建設仮勘定が72百万円及びリース資産が45百万円それぞれ増加したことによるものです。

当連結会計年度末における負債総額は、前年同期末に比し393百万円増加し3,089百万円（同14.6%増）となりました。

流動負債は前年同期末に比し364百万円増加し2,795百万円（同15.0%増）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金が304百万円及び未払法人税等が64百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は前年同期末に比し29百万円増加し294百万円（同11.0%増）となりました。

主な要因は、長期未払金が11百万円減少しましたが、リース債務が41百万円増加したことによるものです。

純資産は前年同期末に比し481百万円増加し8,463百万円（同6.0%増）となりました。また、自己資本比率につきましては、前年同期末比1.4%減少し73.3%となり、1株当たり純資産につきましては、前年同期末比140円74銭増加し、2,472円23銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

区分	当期	前期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	1,255	646	608
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△2,913	△79	△2,833
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△51	△145	93
現金及び現金同等物の増減額（百万円）	△1,709	421	△2,130
現金及び現金同等物期末残高（百万円）	2,717	4,426	△1,709

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー1,255百万円の資金増加、投資活動によるキャッシュ・フロー2,913百万円の資金減少及び財務活動によるキャッシュ・フロー51百万円の資金減少の結果、資金は1,709百万円減少し2,717百万円（前年同期比38.6%減）となりました。

当連結会計年度における各連結キャッシュ・フローの状況と増減要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は、1,255百万円（同94.2%増）となり、前年同期に比し608百万円増加いたしました。

主な要因は、法人税等の支払額263百万円（同115百万円減）がありましたが、税金等調整前当期純利益845百万円（同27百万円増）、仕入債務の増加額285百万円（同452百万円増）、減価償却費244百万円（同63百万円減）及び減損損失120百万円（同51百万円増）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動で使用した資金は、2,913百万円（前年同期は79百万円）となり、前年同期に比し2,833百万円増加いたしました。

主な要因は、定期預金の払戻による収入40百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出2,973百万円（前年同期比2,730百万円増）によるもの及び前連結会計年度は有形固定資産売却による収入216百万円、投資有価証券の取得による支出42百万円が発生したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で使用した資金は、51百万円（同64.5%減）となり、前年同期に比し93百万円減少いたしました。

主な要因は、配当金の支払額34百万円（同3百万円減）、リース債務返済による支出17百万円（同6百万円増）及び前年同期は自己株式の取得による支出96百万円が発生したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第53期 2017年3月期	第54期 2018年3月期	第55期 2019年3月期	第56期 2020年3月期
自己資本比率 (%)	71.8	71.7	74.7	73.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	44.5	73.6	63.2	47.3
債務償還年数 (年)	0.1	0.0	0.1	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	421.9	833.9	403.0	577.0

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
 債務償還年数 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)より算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題に加えて、感染症の流行拡大が国内外で続き、雇用環境、企業収益の悪化などをはじめ景気の停滞感が強まり先行きが見通せない状況が予想されます。

医療業界におきましても、医療費抑制政策が継続され、感染症の流行による医療機関を受診する一般患者の減少・長期処方化等は、当社グループの業績に大きく影響を及ぼし、その影響は見通せない状況ではあります。

このような状況下、当社グループは業務の拡充と効率化を図り、企業競争力を高め、中長期的な経営基盤を強化する目的で新社屋を建設する予定にあります。今年度はこの新社屋建設へ向けた重要な年度となる為、業務の拡充と効率化に向けた取組を強化し、生産性向上により収益確保を図る計画としました。具体的には新規取引先の獲得及び薬局店舗の新規出店による営業基盤の拡充を進めると共に、省力化投資による検査原価圧縮等、業務の効率化に取り組めます。

これらにより、当社グループ全体での2021年3月期の連結業績予想は、売上高は17,226百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益620百万円(同34.3%減)、経常利益635百万円(同35.4%減)及び親会社株主に帰属する当期純利益407百万円(同22.9%減)の見通しといたしました。なお、上記見通しは、医療機関を受診する一般患者の減少・長期処方化等が上半期まで継続すると仮定したものであり、感染症の収束や更なる長期化が見込まれ、今後の業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示してまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分につきましては、中長期戦略を踏まえ、経営基盤の強化及び将来の事業展開につながる内部留保金の確保、株主の皆様への安定した配当の実現を基本としております。

当期の配当につきましては、2019年10月の診療報酬・薬価改定、消費税率の引き上げに加え、感染症の拡大による影響により、前期の業績を若干上回るに留まりましたが、厳しい経営環境及び中長期的な事業展開による継続的な投資等を総合的に勘案し、1株につき10円とする予定であります。内部留保金につきましては、収益力の一層の向上を図るため、業容拡大及び設備投資等の資金に充当する方針でございます。

また、次期の配当につきましては、2020年度診療報酬・薬価改定に加え、感染症の影響が見通せない状況ではあります。10円配当継続する所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,477,997	2,727,762
受取手形及び売掛金	2,652,462	2,608,458
商品及び製品	525,110	451,828
仕掛品	8,128	14,477
原材料及び貯蔵品	53,651	56,044
その他	76,917	99,632
貸倒引当金	△32,121	△26,496
流動資産合計	7,762,145	5,931,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,192,998	2,180,082
減価償却累計額	△1,327,919	△1,380,607
建物及び構築物(純額)	865,079	799,474
機械装置及び運搬具	39,412	41,984
減価償却累計額	△32,077	△34,662
機械装置及び運搬具(純額)	7,334	7,321
工具、器具及び備品	2,632,371	2,746,664
減価償却累計額	△2,346,918	△2,367,301
工具、器具及び備品(純額)	285,453	379,362
土地	916,894	3,526,697
リース資産	65,093	119,485
減価償却累計額	△30,949	△40,068
リース資産(純額)	34,144	79,416
建設仮勘定	—	72,627
有形固定資産合計	2,108,906	4,864,900
無形固定資産		
その他	53,566	45,789
無形固定資産合計	53,566	45,789
投資その他の資産		
投資有価証券	164,513	133,827
長期貸付金	353	241
長期前払費用	30,071	7,861
差入保証金	257,326	246,020
繰延税金資産	169,467	174,553
その他	148,279	169,667
貸倒引当金	△17,091	△21,426
投資その他の資産合計	752,921	710,745
固定資産合計	2,915,394	5,621,436
資産合計	10,677,540	11,553,144

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,864,733	2,168,969
リース債務	10,604	19,434
未払法人税等	145,825	209,909
賞与引当金	116,545	119,910
未払金	96,849	139,886
その他	196,404	137,614
流動負債合計	2,430,963	2,795,724
固定負債		
リース債務	28,112	70,107
役員退職慰労引当金	75,870	80,376
退職給付に係る負債	20,831	15,387
長期未払金	133,716	121,751
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,668	4,652
固定負債合計	265,199	294,274
負債合計	2,696,162	3,089,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	6,595,116	7,089,087
自己株式	△633,162	△633,207
株主資本合計	7,960,574	8,454,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,802	8,645
その他の包括利益累計額合計	20,802	8,645
純資産合計	7,981,377	8,463,145
負債純資産合計	10,677,540	11,553,144

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	17,065,603	17,659,084
売上原価	11,866,989	12,139,165
売上総利益	5,198,613	5,519,918
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	474	—
役員報酬	119,280	123,060
給料手当及び賞与	2,112,669	2,180,293
賞与引当金繰入額	82,472	86,431
退職給付費用	20,901	22,641
役員退職慰労引当金繰入額	7,771	8,506
法定福利費	348,834	362,103
賃借料	60,086	56,439
地代家賃	330,473	342,382
消耗品費	123,204	117,783
減価償却費	127,151	116,301
租税公課	471,172	551,835
その他	578,707	607,195
販売費及び一般管理費合計	4,383,198	4,574,976
営業利益	815,415	944,942
営業外収益		
受取利息	561	434
受取配当金	5,121	5,822
受取賃貸料	50,288	49,009
受取保険料	1,455	10,424
保険返戻金	—	13,227
受取事務手数料	3,427	—
貸倒引当金戻入額	—	1,016
その他	12,230	13,827
営業外収益合計	73,085	93,762
営業外費用		
支払利息	1,604	2,175
賃貸収入原価	50,743	49,353
契約解約損	15,000	—
その他	7,986	4,192
営業外費用合計	75,334	55,721
経常利益	813,167	982,982
特別利益		
固定資産売却益	76,562	90
特別利益合計	76,562	90
特別損失		
固定資産売却損	1,799	—
固定資産除却損	753	41
投資有価証券評価損	—	17,532
会員権評価損	50	—
減損損失	68,964	120,240
特別損失合計	71,567	137,814
税金等調整前当期純利益	818,162	845,259
法人税、住民税及び事業税	287,047	324,143
法人税等調整額	7,815	△7,089
法人税等合計	294,863	317,054
当期純利益	523,299	528,204
親会社株主に帰属する当期純利益	523,299	528,204

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	523,299	528,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,814	△12,157
その他の包括利益合計	△4,814	△12,157
包括利益	518,485	516,047
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	518,485	516,047
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	6,109,905	△537,007	7,571,518
当期変動額					
剰余金の配当			△38,088		△38,088
親会社株主に帰属する当期純利益			523,299		523,299
自己株式の取得				△96,154	△96,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	485,211	△96,154	389,056
当期末残高	983,350	1,015,270	6,595,116	△633,162	7,960,574

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	25,617	25,617	7,597,135
当期変動額			
剰余金の配当			△38,088
親会社株主に帰属する当期純利益			523,299
自己株式の取得			△96,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,814	△4,814	△4,814
当期変動額合計	△4,814	△4,814	384,241
当期末残高	20,802	20,802	7,981,377

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	6,595,116	△633,162	7,960,574
当期変動額					
剰余金の配当			△34,233		△34,233
親会社株主に帰属する当期純利益			528,204		528,204
自己株式の取得				△45	△45
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	493,971	△45	493,925
当期末残高	983,350	1,015,270	7,089,087	△633,207	8,454,500

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	20,802	20,802	7,981,377
当期変動額			
剰余金の配当			△34,233
親会社株主に帰属する当期純利益			528,204
自己株式の取得			△45
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,157	△12,157	△12,157
当期変動額合計	△12,157	△12,157	481,768
当期末残高	8,645	8,645	8,463,145

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	818,162	845,259
減価償却費	308,629	244,731
減損損失	68,964	120,240
投資有価証券評価損益(△は益)	—	17,532
会員権評価損	50	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,282	△5,444
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,548	3,364
貸倒引当金の増減額(△は減少)	239	△1,290
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,705	8,465
受取利息及び受取配当金	△5,683	△6,257
支払利息	1,604	2,175
有形固定資産売却損益(△は益)	△74,763	△90
有形固定資産除却損	753	41
預り保証金の増減額(△は減少)	△262	△15
売上債権の増減額(△は増加)	114,649	39,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,885	64,539
仕入債務の増減額(△は減少)	△167,310	285,348
長期前払消費税等の増減額(△は増加)	364	△5,128
未収消費税等の増減額(△は増加)	2,272	△17,297
その他の資産・負債の増減額	2,309	△75,673
小計	1,022,631	1,519,919
利息及び配当金の受取額	5,316	5,970
利息の支払額	△1,604	△2,176
法人税等の支払額	△379,687	△263,810
役員退職慰労金の支払額	—	△4,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	646,657	1,255,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	40,986
有形固定資産の取得による支出	△243,167	△2,973,993
有形固定資産の売却による収入	216,510	90
無形固定資産の取得による支出	△4,568	△9,919
無形固定資産の売却による収入	939	—
長期貸付けによる支出	△360	—
長期貸付金の回収による収入	6	112
投資有価証券の償還による収入	—	3,000
投資有価証券の取得による支出	△42,152	△0
資産除去債務の履行による支出	△1,000	—
その他	△6,049	26,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,841	△2,913,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△11,264	△17,392
自己株式の取得による支出	△96,154	△45
配当金の支払額	△38,177	△34,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,597	△51,630
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	421,218	△1,709,249
現金及び現金同等物の期首残高	4,005,761	4,426,980
現金及び現金同等物の期末残高	4,426,980	2,717,730

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として病院等の診療に必要な臨床検査の受託業務を行う「臨床検査事業」と、調剤薬局店舗を運営する「調剤薬局事業」及び高度医療機器から一般医療機器、理化学機器等の販売並びに保守を行う「医療機器販売・保守事業」の3事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,805,724	10,364,421	798,307	16,968,453	97,150	17,065,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	644,394	644,394	755	645,150
計	5,805,724	10,364,421	1,442,702	17,612,848	97,906	17,710,754
セグメント利益	336,482	772,796	4,737	1,114,015	74,428	1,188,444
セグメント資産	2,130,221	3,526,445	701,009	6,357,676	10,899	6,368,575
その他の項目						
減価償却費（注）	187,467	105,310	5,865	298,644	137	298,781
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	84,207	126,239	5,948	216,395	—	216,395

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,821,997	10,882,973	863,745	17,568,715	90,369	17,659,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	740,461	740,461	649	741,110
計	5,821,997	10,882,973	1,604,206	18,309,176	91,018	18,400,194
セグメント利益又は損失 (△)	368,014	941,013	△5,355	1,303,672	58,249	1,361,921
セグメント資産	2,017,743	3,352,751	818,705	6,189,200	30,136	6,219,337
その他の項目						
減価償却費(注)	123,000	103,409	9,126	235,537	151	235,688
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	254,424	60,273	16,269	330,967	588	331,556

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,612,848	18,309,176
「その他」の区分の売上高	97,906	91,018
セグメント間取引消去	△645,150	△741,110
連結財務諸表の売上高	17,065,603	17,659,084

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,114,015	1,303,672
「その他」の区分の利益	74,428	58,249
セグメント間取引消去	12,011	8,197
全社費用(注)	△385,040	△425,176
連結財務諸表の営業利益	815,415	944,942

(注) 「全社費用」の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,357,676	6,189,200
「その他」の区分の資産	10,899	30,136
セグメント間消去	△112,046	△137,556
全社資産(注)	4,421,010	5,471,364
連結財務諸表の資産合計	10,677,540	11,553,144

(注) 「全社資産」の主なものは、当社での余剰資金、長期投資資金等に係る資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	298,644	235,537	137	151	9,848	9,042	308,629	244,731
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	216,395	330,967	—	588	6,490	2,782,606	222,886	3,114,163

(注) 「減価償却費」には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・ 保守事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	34,515	—	—	34,448	68,964

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・ 保守事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	120,240	—	—	—	120,240

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,331円49銭	1株当たり純資産額	2,472円23銭
1株当たり当期純利益	152円42銭	1株当たり当期純利益	154円30銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	523,299	528,204
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	523,299	528,204
期中平均株式数 (千株)	3,433	3,423